

事業所名

SAI平田教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

14日

法人（事業所）理念		「違いを違いとして認め、才能を生かし、人生を彩る」 自分自身や他者の違いを認め、それを前向きに捉えることができるようになる。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・応用行動分析を基本とした、行動の「きっかけ」「結果」となる部分へのアプローチを行う。 ・子どもの「できた」に着目し、自己肯定感や自己効力感を育む。 ・子どもをとりまく保護者や先生方と積極的に関わり、一体感を持った支援を行う。 							
営業時間		14時	30分	17時	30分	まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>食育：ランチやおやつクッキングを行い、日々食べている物には何が含まれているのかを考えたり、苦手な物も自分で作ると食べられる経験を積んでいる。プランターや畑に自分たちでじゃがいもや枝豆、サニーレタスなどの野菜を植え、収穫も行っている。</p> <p>季節：その季節ならではの果物狩りや、お花見（梅・桜・あじさい・ひまわりなど）、イベントなどを行っている。</p> <p>生活：必要な児童には、トイレの仕方（下着の着脱など）や手洗いなどの衛生面、適宜水分補給の声掛けなどを行っている。</p>							
	運動・感覚	<p>運動：PTによる体育館での「運動」活動を曜日を変えながら月2～4回程度行っている。長期休みにはボルダリングやプールでの活動も行っている。</p> <p>感覚：教室内にトランポリンクッションやセラバンドを設置し、来所時や学習中の足元に配置している。また、汗をかきやすい、冷房が苦手など個人の感覚特性に応じて衣服調整の練習も行っている。</p>							
	認知・行動	<p>認知：小集団活動の「SST」を通して、交通ルールや社会的ルールを学び危機回避能力を育んでいる。また、「プログラミング」や「パソコン練習」などの活動を通して集中力を身に付けている。</p> <p>行動：見通しが持てるように、月ごとの行事予定表配布、その日の活動内容をホワイトボードに記載し全員で確認する作戦会議を行っている。また、全員の共通認識として「SAIのお約束（①ふわふわ言葉で話しましょう②物を大切にしましょう③お友達と仲良くしましょう）」を教室内2か所に掲示している。</p>							
	言語 コミュニケーション	<p>言語：「SST」や個別療育の中で自分の気持ちを言葉で伝える練習や、小集団活動の中で人前で自分の考えを発表する練習を行っている。「机の時間」として宿題や机上学習の時間を設け、読み書きの練習を行っている。</p> <p>コミュニケーション：家族、お友達、先生、知らない人など相手との距離感を学び、相手に合わせた適切なコミュニケーションの取り方を学んでいる。また、学校や家庭などへの送迎時や、活動の切り替え時の挨拶も行っている。</p>							
	人間関係 社会性	<p>人間関係・社会性：小集団活動の「ルールのある遊び」を通して社会的ルールを学び、ルールを守って参加することの大切さを学んでいる。また、遊びや小集団活動時にトラブルが発生した際には、クールダウンを行った後、指導員と一対一でフィードバックを行っている。</p>							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会 ・親子レクリエーション（夏祭り・BBQ・ボードゲーム大会等） ・定期面談 				移行支援		・必要に応じての情報提供・交換	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・南区こども部会への参加（研修・事例検討会等） ・SAI平田教室主催の各種研修会などへの周知 ・高齢者の方との交流（手品教室） ・地域の消防署見学・お買い物学習 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・入社時に全職員が株式会社LITALICOの研修動画を受講 ・月に1度外部講師による研修会（ABA専門家） ・月に1度外部講師による研修会（熊本保健科学大学教授） ・その他、移行支援事業所見学・作業療法士の先生の講演会実施等 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り ・BBQ ・外部講師によるダンスレッスン ・果物狩り ・外部講師によるスポーツチャンバラ ・ニジマス掴み体験 ・4教室合同イベント ・保護者会 							